令和6年度 高松市立庵治中学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

〈 自啓・誠実・協同 〉

～自分自身や周囲の人々、そしてふるさとを大切に、夢や目標に向かって努力する生徒を育成する。～

【本校の現状と課題】

- ① 「新体力テストの数値分析の結果」より
 - 新体力テストの総合評価 $\{(A+B) - (D+E)\}$ の数値がすべての学年の男女で上回っているが、2・3年男子と1年女子は $(A+B)$ の割合が県平均より下回っている。
 - 新体力テストの合計点が県平均と比べて3年男子だけ下回っている。
- ② 「運動に関する意識」についての分析より
 - 運動部入部の割合は、男子62%、女子48%と低いが、クラブ等で各種スポーツに取り組んでいる生徒が10%と増加傾向であり、全体の65%が運動を継続的に行っている。
 - 今年度から昼休みのボール貸出しを、運動場だけでなく体育館（週1回）でも始めたところ、運動をする生徒は全校生の約25%（昨年度約20%）程になり、活発に身体を動かす生徒が増加している。
 - 家庭でのメディア使用時間は週末や長期休業中の生活において増加傾向にあり、生徒が運動の必要性を認識し、積極的に自ら運動に取り組む姿勢の習慣化には課題がある。

「保健体育の授業での取組」

- ・各自で新体力テストの結果を分析することにより、自ら運動に意識的に取り組むことができるようにする。
- ・各単元の運動が、どの体力を高めることに関係しているか考えさせる。
- ・生徒同士の教え合いや学び合いを大切に、生涯スポーツにつなげる。

「保健体育の授業以外での取組」

- ・昼休みにボールの貸し出しを行ったり、全校生や学級によるスポーツレクリエーションを計画したりし、気軽にスポーツを楽しむことができるようにする。

「縦割りチームで園・小と合同運動会」

- ・今年度初の試みとなる園・小・中合同運動会を通して、人との交流の楽しさを味わい、生涯に渡って運動に関わる姿勢を身につけさせる。例えば、他学年との縦割りチームで先輩からソーラン節を教えてもらったり、各競技種目のこつなどを学んだり、また、こども園・小学生と交流したりすることを大切にす

「庵治中体験での小中連携」

- ・小学生の庵治中体験では部活動の体験を行い、中学校の部活動に向けて夢や目標を持てるよう小中連携を図る。

【 目 標 】

- ① 「新体力テストの数値における目標」
 - すべての学年において、総合得点を香川県の平均以上にする。
- ② 「運動に対する意識・運動習慣における目標」
 - 昼休みの運動場・体育館利用人数を増やすとともに、他学年の生徒同士でもお互いに配慮しながら主体的に運動に取り組めるなかまづくりを行う。